

SCHOOL
スクール
REPORT
レポート

生徒一人一人のよさを
見つけ伸ばす教育の推進

幸手市立東中学校

昨年、40周年の節目を迎えた東中は、更なる飛躍を目指し、「瑞々しい知性 美しい友情 遅い体」を学校教育目標に掲げ、「立志」の経営方針のもと、「志高く未来を創り出すための力を身につけ、ひたむきに自己実現を目指し、生き生きと学び活動し合う学舎づくり」に向けた教育活動を推進しています。本年度の重点は、「一揆一撈」「脚下照顧」「一点一画」を意識した日常の品格の向上です。

学力では、教師も「一人一人の生徒が生き生きと活動できる授業づくり」を研究するとともに、生徒の思考力や表現力の育成に向けて、毎週、新聞のコラムを通して、感じたことや考えたことなどを文章でアウトプットしていく「新聞学習」に取り組んでいます。また、生徒会では、ボランティア活動として、校区の特別養護老人ホームを訪問し、施設の人との世代を超えたふれあいを楽しんでいます。

合唱祭には、生徒が地域の特色を歌詞にした「ふるさとの4番」を作詞し、全校合唱で披露いたします。このほかにも、10月は、ロードレース大会、PTAと協力した「東雲祭(バザー)」など、学校公開の行事を予定しています。ぜひ、子どもたちの生き生きと活動する姿をご覧ください。これからも東中は、保護者・地域との絆を大切にしながら、生徒一人一人のよさを見つけ伸ばす教育を推進してまいります。



ランチタイムコンサート

8月24日(金)ウェルス幸手1階ロビーにて、ランチタイムコンサートが開催されました。

この日は、commodo (コンモド)によるマンドリン・チェロの演奏が行われ、会場を包み込むやわらかな音色に、聞いている人たちもリズムを合わせていました。



第16回市史講座「2日目 9月1日(土)」

市役所会議室で「関宿向河岸は干鰯の一大ターミナル」の講座が行われました。

江戸時代、関宿向河岸を本拠地としながら江戸にも店を持ち、繁栄を極めた干鰯問屋の講話を榎講師がわかりやすく解説。当時の「幸手宿」が資料の中に。

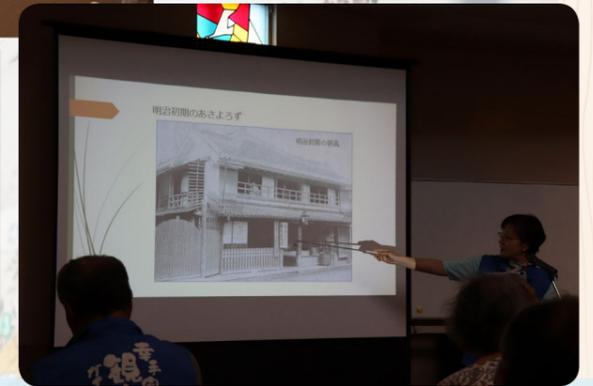
肥料の生産と流通をめぐる「肥糠俵擬物出廻りの一件」に、参加者は「向河岸の大問屋の商圈は広い。偽物に関しては今も昔も同じ」と話していました。



映像による「幸手宿 宿場あるき」

8月25日(土)勤労福祉会館で、幸手宿観光ガイドの会による初の試み、映像による「幸手宿 宿場あるき」が行われました。

実際にまちなかを歩きながら歴史の面影を残す建物や文化財に触れるのとは異なり、当時の映像などを見ながら説明を聞くと、歴史の面影と当時の情景とが重なり合い、新たな「幸手宿 宿場あるき」が体験できる催しとなりました。



第16回市史講座「1日目 8月18日(土)」

市役所会議室で「関宿向河岸喜多村家の永続計画」の講座が行われました。

江戸時代、関宿向河岸(現在の西関宿)に栄えた河岸問屋の喜多村家の「永続」計画を、岩淵講師がわかりやすく解説。時おり会場からは笑い声が。

子孫には現金でなく手堅い土地を残すという喜多村家の家訓に、参加者は「儲かるものは、手堅く抑える。商売人としての才能が素晴らしい」と話していました。

若草俳句会

「夏・甘酒」

甘酒を
ゆつくり飲んでひと日過ぐ
木下かつゑ・五霞町元栗橋

夕空に
万灯ゆれて夏祓
久保田美佐子・中一
受験生

夏の図書館音もなし
尾瀬の道
透ける夏空児等の声
小林筑山・東五

剣道の
合宿稽古遠き夏
鈴木佐一・久喜市栗橋東

駅周辺
区画整理の響く夏
高花春子・南三

甘酒や
稚児は欲しがる母の乳
田口もと子・中五

燎原短歌会

電柱に記され
残る洪水跡
身の丈越えて
軒端に及ぶ
竹園末子・中三

「ふるさと」を共に歌えば
涙ぐむ
ホームの人ら
良き年重ね
大内田登久子・千塚

戦なき平成なれど
地震・豪雨・極暑に
生命失ひし
人あまたなり
小澤六子・中二

別姓の表札
二枚を門柱に
代々の姓
守るは難し
古賀富美江・中三

みんなみの海原とほく
浮かびいでて
影のごとくに
暮るる島山
新井佐和江・戸島

長男の嫁早く逝き
その母が
「ごめんさいね」と
われにまで言ふ
長下部圭作・東五

